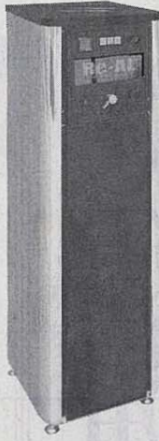


日刊工業新聞



【相模原】リガルジ  
ヨイント（相模原市南  
区、稲場純社長、04  
2・756・741  
1）は、金属加工に使  
う水溶性切削液の主成  
分である強アルカリ性  
電解水の生成装置「R  
e-AL（リアル）II  
写真」を発売した。水  
溶性切削液は強アルカ  
リ電解水に少量のオイ  
ルを加えたもの。水溶  
性切削油に比べランニ  
ングコスト、廃液の処  
理費などを削減でき  
る。同装置の消費税抜  
きの価格は500万  
円。初年度に売上高1  
億円を目指す。  
リガルジヨイントが  
開発した水溶性切削液  
「リアルウォーター  
X」は、防腐性が高  
く、既存の水溶性切削  
油などから置き換える  
ことで廃液の処理が不  
要となる。浸透性、冷  
却性も配慮しており、  
工具が熱変形しにくく  
長持ちするため、工具  
購入費を半減できると  
いう。

# ランニングコスト削減

強アルカリ性  
電解水生成装置

## 金属切削液向け

リジョ  
ガイ  
ルト

さらに潤滑性も向上し、テスト導入した顧客企業では加工速度が

従来比で3倍にアップしたという。  
また、切削機20台を1日当たり16時間稼働する企業のテスト導入前と導入後のランニングコストを比較した。その結果、導入前に比べて約6割のコストダウンを実現した。これから利点を金属加工企業の企業に訴求する。

# 日刊工業新聞

THE NIKKAN  
KOGYO SHIMBUN

6月23日 金曜日

2017年(平成29年)